



杉並区立四宮小学校

令和5年4月6日

一歩前へ ふみ出そう 一人はみんなのために みんなは一人のために できることを できるときに

校長 浮ヶ谷 優美

ご入学、ご進級おめでとうございます。新入生134名(通常級130名、クローバー学級4名)を迎え、全校児童775名、28学級(通常級24学級、クローバー学級4学級)体制で四宮小学校の令和5年度が始まりました。これまで新型コロナウイルス感染症について様々な局面で厳しい対応を迫られてきましたが、ようやく明るい光が見えてきました。まだまだアフターコロナとは言いつくえず、ウィズコロナへの配慮も継続しながら、今年度は少しずつ教育活動を正常化させていく予定です。一方、コロナへの対応は、時代に即した教育活動への変革を急速に進展させた一面もあります。アフターコロナは、単にコロナ前の教育活動に戻るのではなく、コロナ禍3年間の経験を生かした、新たな四宮小の教育活動を模索する年でもあります。杉並区教育ビジョン2022に「みんなのしあわせを創る 杉並の教育」と掲げられているとおり、学校・子ども・家庭・地域、皆がよりよい学校づくりへの当事者意識を高め、それぞれの思いや願いを尊重し、対話を通して、さらに強く結んでいける年にしたいと願っています。

こうした願いを込めて、四宮小の今年のメインテーマを「一歩前へ ふみ出そう」に、サブテーマを「一人はみんなのために みんなは一人のために」「できることを できるときに」としました。学校やみんなのために役立ちたいという思いを抱いている人(子)は少なくないと思います。一方、その思いの生かし方がわからないという人(子)や継続して関わる余裕がないという人も多くいます。また、うまくいかなかったら、期待に応えられなかったら、と一歩前へ踏み出すことを躊躇している人がいるかもしれません。大丈夫です。物事の始まりはいつも「はじめの一歩」からスタートします。自分のできることをできるときに取り組むことが、みんなのしあわせをつくることにつながるのではないのでしょうか。

「一歩前へ ふみ出そう」を支える4つの言葉を「元気・やる気・勇気・根気」として掲げ、実現に向けた気合いを込めるとともに、皆の合い言葉としてテーマの浸透を図ります。

元 気…早寝、早起き、朝ご飯、朝遊び

やる気…まず やってみよう

勇 気…失敗は成功のもと やり直しはできる

根 気…ねばり強く あきらめずにがんばる

元気になれば、やる気が起きます。やる気が起ければ、勇気がわきます。勇気がわけば、根気が続きます。校長として四宮小に着任し4年目となります。これまで以上に私自身が気合いを入れて率先垂範し、できることをできるところから取り組むとともに、頑張っている人に気づき、その取り組みを認め励まし、さらにその輪を広めていきたいと、決意を新たにしています。皆様、手を携えて共に歩みましょう。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



学校支援本部ボランティア大募集

朝遊び、図書ボラ、よつぱっ子等、メンバー不足のため、活動の継続が難しい状況です。ぜひ、お力を貸してください。(後日、募集チラシ配布)